

2021年度年賀差立集中処理及び2パス集中処理について

1 趣旨

短期間で機械を活用した効率良い作業を行う。

- (1) 年賀郵便物の差立集中処理及び2パス集中処理を行う。
- (2) 区分機配備局において年賀郵便物の円滑な業務運行を確保するため、深夜勤務を実施する。

2 集中処理計画

別紙1のとおり

3 年賀配達結束基準

別紙2のとおり

4 地域区分局の結束予定便

12月25日(土)～12月31日(金)の各地域区分局の元旦持出に係る結束予定便は別紙3のとおり。

5 手区分処理体制の確立

12月29日(水)～31日(金)の年賀郵便物結束の流れは別紙4-1及び4-2を基本とする。元旦配達物数の拡大を図るため手区分処理体制を確立する。

なお、手区分を減らすため可能な限り区分機処理を行うよう検討し、実施日等について地域区分局を中心にエリア内で調整する。

(1) 年賀集中処理局(深夜勤勤務実施局)

年賀増強便(下1号便前抜便(別紙4-1の※1))は必ず2パス処理を実施する。

なお、下1号相当便については、区分機稼働計画に基づき必要な手区分処理体制を確立する。

(2) 年賀集中処理局(深夜勤勤務未実施局)

下1号便は必ず2パス処理を実施する。

なお、下1号相当便については、区分機稼働計画に基づき必要な手区分処理体制を確立する。

(3) 被集中局

地域区分局からの下1号便では、区分機配備局あて年賀増強便(下1号便前抜便(別紙4-1の※1))以降の手区分結束便までを番号(郵便番号5桁)区分した年賀郵便物が到着するので、必要な手区分処理体制を確立する。

6 地域区分局における処理体制の確立

(1) 地域区分局においては、区分機配備局からの差立継越年賀郵便物の処理要員を確保し、最先便への結束(当日の年賀増強便(別紙4-1の※4)又は年賀増強便(下1号便前抜便(別紙4-1の※1))への結束)が確保できるよう体制を確立する。

(2) 到着から差立まで6時間以内で区分機処理を完了できるように、専用のフラグ等(別紙5)を活用し、処理の進捗管理を図る。

7 深夜勤務

(1) 実施局 (6局)

新潟中央局、両津局、長野南局、佐久局、松本局、飯田局

(2) 実施期間

ア 新潟中央局

2021年12月24日(金)から2022年1月3日(月)までの10勤務11日間とする。

なお、前年の出回り状況から、自局において変更することを可能とするが、変更する場合は変更決定後速やかに支社・施設区分機担当に連絡する。

また、計画を変更する場合は、別に指示する。

イ 新潟中央局を除く深夜勤務実施局

2021年12月25日(土)から2022年1月3日(月)までの9勤務10日間とする。

なお、前年の出回り状況から、自局において変更することを可能とするが、変更する場合は変更決定後速やかに支社・施設区分機担当に連絡する。

また、計画を変更する場合は、別に指示する。

(3) 勤務時間

勤務パターン(別紙6)を支社から各局に示し、各局で決定の上、支社に連絡する。

なお、各局の報告が取りまとめ次第、改めて情報提供する。

(4) 要員配置

期間中のみ深夜勤を実施する局は、区分機1台につき、深夜に正社員1名と期間雇用社員2名を配置する。

必要に応じてビデオコーディング打鍵要員を増配置する。

(5) 後補充対応

深夜勤実施に伴う後補充は期間雇用社員で対応する。

(6) 服務表の改正

必要な場合には、ルールに基づき服務表の見直しを行う。